2022 年度 通常社員総会 議事録

I. 会議名 :(公社)日本地すべり学会 2022 年度通常社員総会

Ⅱ. 開催日時 :2022 年 6 月 10 日(金) 11 時 00 分~12 時 00 分

Ⅲ. 開催場所 : 学術総合センター内 一橋大学一橋講堂 中会議場 2・3・4

Ⅳ. 現社員数 :73 名

V. 社員出席者 :会場 9 名, オンライン 26 名, 委任状 25 名、書面議決 6 名 (計 66 議決権)

VI. 議長 :小林 豊(関東支部)

Ⅶ. 議事録署名人 :山邉 康晴(関東支部),谷口 房一(関西支部),

Ⅷ. 出席理事 : 平松晋也, 榎田充哉,中里裕臣,浅野志穂,宇次原雅之,佐藤剛, 柴崎宣之, 藤

井俊逸

IX. 出席監事 :今泉文寿, 相楽渉

X.議事録作成 :藤元 亮

I. 定足数および議決権数の確認

浅野専務理事によって、総社員数・委任状数・定足数・議決権数が以下のとおり確認された。 定款第22条に基づき、出席した社員の数は総会開催の定足数を満たしていることから、社員 総会は成立し、開会宣言がなされた。

- · 総社員数:73
- ・ 出席した社員の数:9名
- オンライン参加した社員の数:26名
- ・ 委任状により議長へ議決権を委任した社員の数:25名
- ・ 書面により議決を提出した社員の数:6名
- ・ 総会開催に必要な出席社員が有する議決権の数(委任含む): 37名(総社員数73名の過 半数)
- ・ 総会において決議に必要な議決権の数:34名(出席社員が有する議決権の数(委任含む) 66名の過半数)

Ⅱ. 議長及び議事録署名人の選出

- ・ 浅野専務理事が,議長の選出(定款第20条)および議事録署名人の選任(定款第24条) について説明した。
- ・ 議長への立候補者はなく,浅野専務理事より小林社員を推薦する意見が出され,小林社員 が議長へ選出された。
- ・ 議事録署名人への立候補者はなく, 浅野専務理事より山邉社員, 谷口社員を推薦する意見が 出され, 山邉社員, 谷口社員が議事録署名人へ選任された。

Ⅲ. 審議事項

第1号議案「2021 度(公社)日本地すべり学会貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認」の件

柴崎総務部長が、配布資料に基づき、2021年度(公社)日本地すべり学会貸借対照表、正味

財産増減計算書及び財産目録について説明した。

また, 今泉監事が, 監査結果を報告した。

第1号議案に対し、質疑応答はなく、第1号議案は承認66票、非承認0票で承認された。

▶ 第2号議案「2022・2023年度役員選任」の件

田中選挙管理委員長が、配布資料に基づき、(公社)日本地すべり学会の2022・2023 年度の役員選挙結果について説明した。

第2号議案に対し、質疑応答はなく、理事および監事、一人一人に対して別表の順で決議した。新井場理事、古谷理事については、代議員を辞任することについても併せて決議した。 第2号議案は、別表に示すとおり承認された。

- ・ 新井場代議員が辞任することにより議決票 65 となるがが、総社員数の議決票 73 の過半数を 超えているので社員総会は成立。総会において決議に必要な議決数は 33 票。
- ・ **古谷代議員が辞任することにより議決票 64 となるが**,総社員数の議決票 73 の過半数を超えているので社員総会は成立。総会において決議に必要な議決数は 33 票。

Ⅳ. 報告事項

① 2021 年度(公社)日本地すべり学会事業報告の件

柴崎総務部長が、配付資料に基づき、2021 年度(公社)日本地すべり学会事業報告について説明した。質疑応答はなく、本件は了承された。

- ② 2022 年度(公社)日本地すべり学会事業計画の件
- ③ 2022 年度(公社)日本地すべり学会収支予算の件

柴崎総務部長が、配付資料に基づき、2022 年度(公社)日本地すべり学会の事業計画及び 収支予算について説明した。この後、下記の質疑応答があった。

- ・ 第 1 号議案でも説明があった具体的使途が定まっていない遊休財産額が多く公益法人 財務基準の制限に対して不適合ということについては、改善の検討をしていく必要があ るのではないか。
 - →より具体的に活発な活動をしていく必要があると考えている。この一環としてアウト リーチ活動を学会員のアンケート結果等を踏まえ、活動を強化している。担当理事も 期中に1名から3名に増員している。
- ・ 研究調査部の研究助成に関して、近年、新規案件の応募がない状況の中で、新規課題を 2課題募集とのことであるが、応募がない場合、予算を見直す等の計画はあるか。また、 募集に関して工夫している点があれば教えて頂きたい。
 - →現在のところ予算を見直す考えはない。募集に関しては、応募がない場合は再度公募 をしている。
- ・ 会員数対策として、特に、若手会員数の対策が重要と考えているが、本部としてどのような対策を実施しているかをお聞かせ頂きたい。
 - →本部としては、若手会員数の対策として、アウトリーチと若手対策 WG の活動等を実

施している。支部の例として中部支部では、現場での WG 等を企画しているが、コロナ渦中で十分な活動ができていないところもある。今後、改善されていくものと考えている。

→本部として BIM/CIM ネットワークの活動をしており、若手の参加者が多く、好評を得ている。また、BIM/CIM は、3 次元的に確認できるメリットがある等、非常に有効である技術である。BIM/CIM ネットワークの活動により、若手会員数の増加や育成が進むとともに、災害対応でより活用されるようになる等、次のステップに進んでいくことを期待している。

▶ その他

議長が社員にその他の事項について意見を求めたが、特に意見はなかった。

議長が閉会を宣言した。

議	長	小林	豊	
議事録	署名人	山邉	康晴	(EII)
議事録	署名人	谷口	房一	

別表 2022・2023年度役員選任の決議結果

区分	氏名	所属	承認**	非承認
理事	浅野 志穂	(国研)森林研究・整備機構	66	0
	新井場 公徳	消防庁消防研究センター	65	0
	飯沼 達夫	日本工営株式会社	65	0
	石丸 聡	(地独)北海道立総合研究機構	65	0
	岩橋 純子	国土地理院	65	0
	宇次原 雅之	日特建設株式会社	65	0
	榎田 充哉	国土防災技術株式会社	65	0
	大河原 正文	岩手大学	65	0
	太田 英将	有限会社太田ジオリサーチ	65	0
	岡田 康彦	(国研)森林研究・整備機構	65	0
	加藤 猛士	川崎地質株式会社	65	0
	笹原 克夫	高知大学	65	0
	佐藤 剛	帝京平成大学	65	0
	佐藤浩	日本大学	65	0
	堤 大三	三重大学	65	0
	冨田 陽子	国土交通省国土技術政策総合研究所	65	0
	中村 真也	琉球大学	65	0
	藤井 俊逸	株式会社藤井基礎設計事務所	65	0
	古谷 元	富山県立大学	64	0
	渡部 直喜	新潟大学	64	0
幹事	今泉 文寿	静岡大学	64	0
	相楽 渉	(一財) 砂防・地すべり技術センター	64	0

[※] 新井場理事、古谷理事については、代議員辞任を承認した後に理事承認の決議したた

め、新井場理事、古谷理事以降の議決権の数が変化している。